

自 彙 会 だ 上 り

変
わ
ら
ぬ
伝
統
と
文
化

今 も

第34号

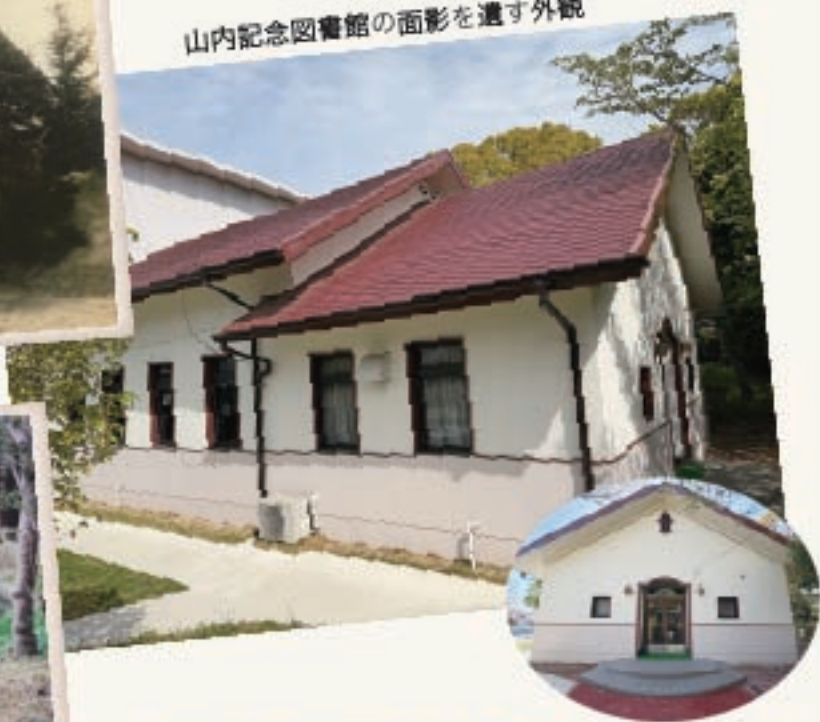


あまたの資料が100年の「足跡」を未来に伝える
 創立100周年事業の総仕上げとして2026年春、資料館開設



創建当時の山内記念図書館

山内記念図書館の面影を遺す外観



かつて集い語らいの場であった「韮草池」



「天壤無窮」の碑



「桜花苑」と名付け、新たな憩いの庭園に



春には桜が迎えてくれる

- 表紙絵「授業の外側」
沖田 結萌 (高79回・美42回)
- 裏表紙絵「美術棟を望む」
安藤 勉 (中18回)
- 表紙題字
佐伯 敏裕 (高24回)

自己紹介と決意



自彊会会長
福本明彦
(高 30 回)

自己紹介

生まれは姫路市ですが、父の仕事の転勤で人丸小学校に転校。その後、大蔵中学校から明石高校へ。明高では陸上競技部に所属、学業そっちのけで主に長距離を走っていました。が、誇れる成績は残せませんでした。卒業後迷うことなく警察の道に進み、42年間治安維持の端くれとして職務を全う致しました。現在、学校法人兵庫県自動車学校で理事長の職にあります。

明石高校の思い出

当時のクラブ顧問永禮先生の厳しい指導に耐えて、3年間を過ごせたのも部員同士の絆があったものと感謝しております。

卒業後

縁あって、学年理事でしたが、現職警察官という仕事柄なかなかお役に立てる機会はありませんでした。ただ、転勤で県内あちこちや県外、また、国外に赴任した際には、不在転送先を実家に行っていたことで、定期的に届く「会報(自彊会だより)」の中に入っている「年会費振込用紙」を見た両親が毎年きっちり年会費を収めていたところ、役員の方から「あいつは律儀な男やから、役員にしよう。」という事になったと伺っております。定年退職後も再就職で思うように時間が作れませんが、

明石高校の近くに居を構えておりますことから、時間が合えば会議に出席できるというところで、今回、会長に選ばれたようであります。

会長として

さて、明石高校は創立100周年を無事に終え、伝統校らしい同窓会の絆や母校への熱い声援がある中、どの学校にもあるような、「低調な同窓会活動への参加意識と会費未納入問題」「物価高騰による会報作成、送付問題」「個人情報保護と会員名簿問題」等沢山の課題を抱えております。

そこで、「同窓会とはどうあるべきか」と考えた時に、原点に立ち返り、自彊会の目的である「会員相互の親睦と母校支援」の為に何が出来るのか、できないのか。やるべき活動に優先順位つけ、会員の皆様の意見を伺ったうえで、具体的な対策に取り組む必要があるのではないかと考えるところであります。「言うは易し行は難し」と申します。また、先輩方も苦労された問題であることは承知しておりますが、皆様のご協力を得まして難題に挑戦していきたいと考えております。

むすびに

前会長の草川様には創立90周年と100周年という節目の時期に会長職を務められ、大変苦労も多かったと思います。本当にご苦労様でした。また、元会長の和田様には型破りながら、明石高校への強烈な愛情には頭が下がります。お二人には及びませんが、自分なりに全力で会長職を全うすべく努力いたしますので、皆様の温かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

2026年度総会のご案内

定例の総会を左記のように開催します。ご多忙とは存じますが、参加いただき、有意義なご意見を頂戴できればと考えております。

記

- 期日 2026年7月4日(土)
- 場所 グリーンヒルホテル明石(2階)
- 受付 午前11時より
- 開始 午前11時30分より
- 次第 ① 会長挨拶
② 議案審議
③ 質疑応答
④ その他

2026年度懇親会のご案内

総会に引き続き、同窓会懇親会を開催します。限られた時間ではありますが歓談の場となるように準備を致しております。

記

- 期日 2026年7月4日(土)
- 場所 グリーンヒルホテル明石(2階)
- 開始 正午より
- 次第 ① 校杯挨拶
② 校歌斉唱
③ 楽しい催し
- 会費 5,000円
- 申込方法 同封の年会費の振込用紙で6月24日(水)までに会費の事前振り込みをお願いします。
- その際、電話番号の記入をお願いします。コンビニの振り込み用紙は懇親会の振り込みには使用できません。

ごあいさつ



第27代校長
泉 村 靖 治

自彊会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る3月9日に本校中部講堂において行われました中部講堂竣工70周年記念式典には、自彊会会長の草川雄二様をはじめ、多くの方々にご臨席を賜るとともに、式典の実施に当たり多くのご支援を賜り、誠にありがとうございました。

式典は、兵庫県教育委員会事務局文化財課からの国登録有形文化財登録証授与のセレモニーを冒頭に行い、その後、学校長から式辞、生徒代表から慶びの言葉を述べ、校歌を在校生徒が斉唱して無事に終了しました。

その後は、中部講堂をご寄附くださった中部謙吉様のご令孫でいらっしゃる外ノ池佳子様から記念講演を賜りました。

これらの様子は、サンテレビのニュースや神戸新聞等のメディアに取り上げていただくことができ、伝統ある本校の様子を多くの方々に変更して認識していただく機会になりました。この紙面を借りて

お礼とともにご報告申し上げます。また、ご報告させていただきたいのは、このような伝統を礎として築きつつある新しい時代に向けた教育です。

本校のSTEAM探究科は、今年、令和8年度の入学生をもって3つの年次が揃うことになりました。対面式では、探究への興味の溢れる好奇心旺盛な生徒たちに、先輩が進めてきた学びを伝えていくという縦の伝承の形が完成し、熱気に満ちた会になりました。

それとともに、全学科を単位制とし、STEAMの学びを普通科にも広げていくという横展開も推進していくために、今年度は普通科全クラスに全ての教員が関わって探究学習を行うという体制を整えました。また、学校図書館を改装して探究的な学習を進めることができるよう、ラーニングコモンズ化することも計画中です。

探究学習は、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせて課題を解決し、自己の生き方を考えていくための力を育成することを目標にしています。したがって、現代社会の課題、特に、身近な地域課題について解決できるように、実社会に出て様々な方々のご協力をいただく機会が多くなってきます。これまで以上に、自彊会の皆様には、ご支援をいただくことがあると思われます。今後ともご支援・ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

資料館整備完成

思い出は生きる力

整備委員

山内記念図書館は私たちにとって叡智の象徴でした。ところが年月が経ち、白蟻により倒壊を免れない状態で、移築も難しいと判断されました。何とか山内記念図書館の再築を願いましたが叶わず、現在の資料館が建てられました。

図書館に似た建物はできましたが内容の充実を計るには時間と予算が必要でした。取り敢えずできることからと、始めましたが、それは遅々とした歩みでした。そんな中、2023年、明中・明高創立100周年を迎えるにあたり、記念事業実行委員会が組織され、資料館整備委員会がその中の一つとして設置されました。「100年の歩み」を内容豊かに展示するための企画・実行を担う委員会です。

まず、現状の資料の整理から始めることにしました。資料とはいっても残すものと、処分しても良いものを見極めるのがとても難しい。委員会の中では何をどのように展示して見ていただくのがベストか、時間をかけて話し合いました。

これらの難題と資金不足に頭を痛めていたところへ「資料館の充実に使って下さい」と高額の寄付を頂きました。これに強く背中を押され、話し合いは具体的

になり、より白熱していきました。委員たちのディスカッションはより良い内容にしようという熱い思いからのものでした。

資料館の正面には、明中・明高の校旗を置き、100年の歴史は楠が語るようにドラマチックに始めたい。山内先生の建学の精神は必ず展示しよう。「自治・協同・創造」は今に継がっていることも表現したい。奇跡のように残っていた作業精神の墨書の板を展示しよう。明中对中京の延長25回戦の野球の試合に関する資



料や「善闘牌」、「朝日牌」はどのように展示しようか。等々。

展示のために100年を5つの時代に区分しました。創成の時代(明中時代)、改革の時代、成熟の時代、多様な時代、発展の時代と分けました。この5区分のパネル作りが始まりました。明中時代の資料や写真は思いのほか残っていました。パネルは是非皆さんに見て欲しい、知って欲しいという願いを込めて作成しています。しかし、それぞれの時代の何を特徴としてピックアップするかを悩んでい



るときに、100年の歴史全体を俯瞰することが必要だと考え、先に年表作りに取り組むことにしました。歴史を学び直すことができ、出来上がった年表に感動しました。

展示物の一部には、実際に使用していた制服をはじめ、生徒手帳、成績表、卒業アルバムといろいろ寄贈していただいたものもあります。有難うございます。また、明高新聞、同窓会報、学校要覧な



ども保管しています。購入を悩んだのはガラスケースでした。何より値段の高さに驚きましたが、展示物を入れた時に立派に見えるのではないかと、新しいガラスケースを購入することにしました。資料館として見ていただけの展示内容になったと自負しています。

静謐な空間の中で、学生時代の思い出に浸っていたきたいという思いと、校歌が流れているのも思い出の1つだなあという意見があり、熟考の結果、人感センサーにより明中校歌、明高校歌、応援歌が流れる仕組みを取り入れました。また、DVDで「100年の歩み」の映像を見ることができるよう、DVDプレ

イヤーを設置し、卒業アルバムもゆっくりご覧いただけるように応接セットを置きました。
まだ完璧とは言えませんが、ここまでの多岐にわたる資料を、たくさんの方々楽しくご覧いただけると嬉しいです。



資料館見学方法のご案内

- 開館日 月・水・金曜日の10時～14時の間とします。(7月までの間)
 - 事前予約制 同窓会事務局に電話(09136564)で申込をお願いします。不在時はお名前・電話番号を録音下さい。
 - 注意 開館日以外の見学希望の可否は事務局にお尋ね下さい。車での来校はご遠慮願います。
- ※8月以降の要領はHPでお知らせします。

ひととき

この4月をはじめ、明石高校創立100周年(2023年)の最後の記念事業として、資料館が完成し、お披露目された。貴重な資料が満載あふれ、明高生の新たな心のよりどころになるにちがいない。

折しも、満開の桜がそのオープンを祝福した。桜のもとでお弁当をいただき語らう機会を得、次の和歌を思い出した。

「百敷の 大宮人は 暇あれや 桜挿頭して 今日も暮らしつ 山部赤人」

「百敷」は宮中のことで、「百敷の」は大宮人(宮中に仕える人)にかかると枕詞だが、「百」の文字と100周年とが結びつき、頭に浮かんだ。「大宮人は暇があるのかなあ、桜を髪に飾って今日も暮らしていたよ」と、奈良時代の何とも雅でゆったりとした花見の情景を詠んでいる。

母校の庭でうららかな陽射しを浴びて、穏やかな満ち足りた気持ちで桜を愛でる……。大宮人のように毎日というわけではなかったが、当時は想像しながら、この上ない幸せを感じた。

他方、今日の世の中に目を移すと、目を覆いたくなる報道が次々となされている。その情勢はどんどん不穏になっているようだ。1300年前の大宮人も現代人も、桜など美しいものに感動する心は同じだと思ふ。その心を抱きつつ、誰にとつてもかけがえのない日常が続くようにと、心から願っている。

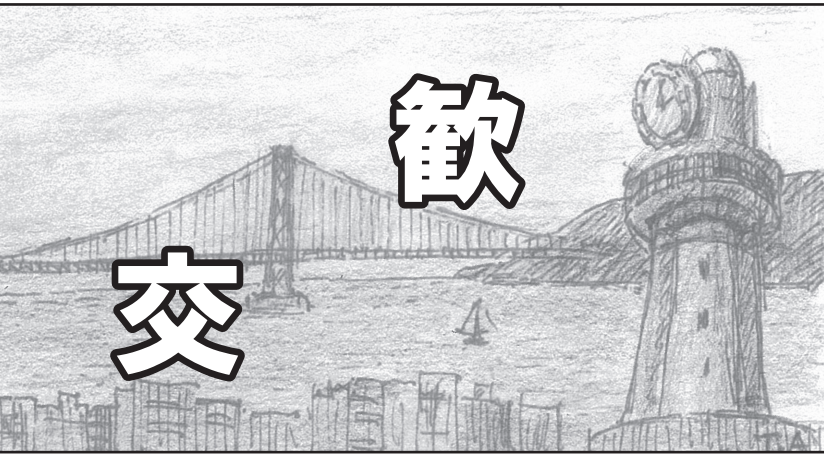
(千)

「米寿の祝い」お知らせ

明中1回生から続けてきました「米寿の祝い」を本年も実施いたします。今回は明高9回生の皆様を対象とさせていただきます。

皆様から文章などをお寄せいただき、文集にしてお送りしたいと考えています。

9月初旬に住所が判明している方へ、ご案内の便りをお送りします。お楽しみにお待ちしております。



イラスト・安藤 勉 (中18回)

高校5回

戒井 皓二

卒寿の集い第2弾 明伍会 第一回卒寿の集いを令和7年4月25日に開催し、第二回卒寿の集いを同年10月10日に施行しました。

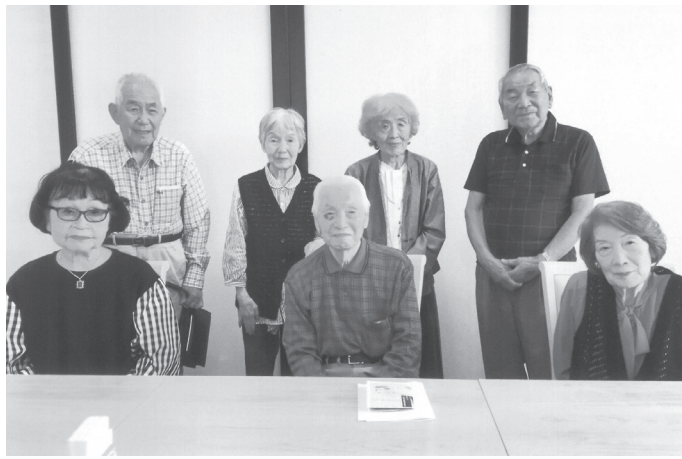
もともと第二回は7月25日に設定されていたのですが、7年は5月後半から、連日熱中症警戒アラートが発令され、参加道中にて熱中症に罹ればこの歳です、命に拘わると秋口の10月10日に変更していたのです。

また、前回参加者のひとりから、会に名を附けようと、明高の5回卒業生故「明五会」ではどうかと提案が有り、それを受けて、五に、仲間とか集団の意を含む「にんべん」を着けて「明伍会」と決めたのです。

10月10日の集いには、4月に比べ一人が鬼籍入り、二人が前日の大阪万博見学の疲れで欠席、もともと少ない乍ら、より少なくなりましたが、高校時代の自分の思い出話に、或いは同級生の思い出話に花が咲き、時の過ぎるのも解らぬほど話が弾み、「そろそろ措きますか」と声をかけても「ええもうそんな時間か?」と熱気盛んで、卒寿のひと時を精一杯楽しんだのです。

なお、10月10日同日同場所にて、明高第29回卒業生の同窓会が盛会に催行されて居り、その29回卒業生の

おひとり、29回卒会場へ向かう途中、我々の屯している処で立ち止まり、敬意を表する言葉を残し、一礼して去って行ったのです。其の礼儀正しい心得に感激すると共に偶然乍らの若き力を頂戴した事に対する感謝の意を表する次第です。



高校8回

中山 直樹

最後の同窓会 卒業して70年目の節目に当たる米

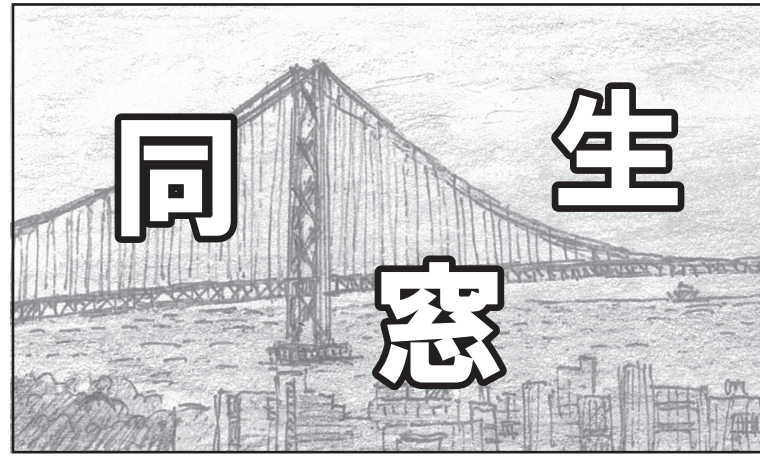
寿記念の同窓会を11月7日開催しました。

今年は昭和百年に当たり、私たちはまさに昭和の中で駆け走った同級生仲間でした。

会場は明石公園に隣接したグリーンヒルホテルで、公園では恒例の菊花展が開催中でした。

米寿を超えて、参加者は遂に27名と10%を切りました。そして今回が明高8回生同窓会として最終回になりました。





生 窓 同

高校13回

高橋 宏嘉

私達13回生は、令和7年10月17日に明石駅前のグリーンヒルホテルにて、同窓会2025会を開催しました。これまでは、おおむね5年毎に開催していましたが、歳を重ねて5年は長かろうと、前回2023会から2年で会をもちました。1961年、南に瀬戸内淡路島山、西に播磨の野を望む、荷山の高台「我が母校」を卒業して64年になりました。

案内状を268名の方に送りました。返信を頂いた方154名、欠席の方124名で、30名での会でした。



他界された恩師・友のご冥福を祈る黙禱で、会は始まりました。

再会を喜び合い、昔のこと、近況、同期生の消息、健康、暮らし方等々は曾孫の話まで出て来て、多感な時を共にでき、感謝感激。

次回は来年4月を予定（幹事・竹内さん）。

「お帰りなさい13回生―道を掃きて佳き友を待つ―」を合言葉に母校で開催。

高校18回

佐々木 卓郎

喜寿同窓会

昨年10月20日にグリーンヒルホテル明石で開催。コロナの関係もあり1年遅れの喜寿記念となり、約80名の参加がありました。

同窓会開催には同級生名簿・住所録のアップデータは欠かせませんが、今回も岸本さんにお世話になりました。受付では本人の名前の横に卒業アルバムの個人写真を添えた名札を配り、若かりし日の顔から高校時代の記憶を引き出すことができました。

受付後会場に入る前にロビーで全員写真撮影！撮影のために再度会場外に出てひな壇に整列する手間を省く写真館・北村さんのアイデア。基本的にクラス別に配置したテーブルに皆さんが着席後、板倉さんのファンファールで開会、片山さん・西川さんの絶妙な司会で進行。母校校長を務めた折戸さんから母校の100周年記念行事と現状報告、大川さんのピアノ演奏と応援団のリードによる校歌・応援歌合唱、板倉さんのトリオザレインボウの管楽器演奏、山口さんと久保田さんによる社交ダンスなどで大いに盛り上がりました。

会場では門垣さんの編集による母校のスライド映像が流され、思い出話



に花が咲きました。2次会は同じ会場で開催し大半の方が参加され、元気な内にまた再会したいとの言葉が飛び交っていました。

高校28回

森本克茂



卒業50周年記念、「今ぞ集え〜月」で、132名と恩師の仲先生が11月2日(日)西明石のホテルキャッスルプラザ明石に集いました。

和田君の意志を引き継いで彼の盟友、バスケの赤松君が実行委員長を引き受けてくれました。彼が制作してくれた郷愁をさそう音響効果たっぷりの明高卒業50周年記念ビデオは大好評でした。

参加いただいた皆さん、諸事情で参加できなくても熱い思いを届けていただいた皆さん、ありがとうございます。

高校29回

小椋利雄

2025年10月10日(金)午後、グリーンヒルホテル明石にて同窓会を行いました。

平日であったためか37名の参加者でしたが、少人数でいろいろと話が出来て良かったという意見もありました。

メインは、同窓生による近況報告で盛り上がりました。

最後に、中高校歌、応援歌、「今日の日はさようなら」で閉会しました。

今回は出来るだけ経費を減らす事を考え、昨年返事があった方のみ、往復はがきを送りました。

卒業50周年記念同窓会では、インターネットをさらに活用したいと思っています。



高校33回

滝川由里



2025年8月16日、グリーンヒルホテル明石にて同窓会を開催することができました。少し遅れた還暦同窓会

から3年後に次回を予定しておりますが、多くの皆様からのご要望を受け、2年後の開催となりました。残念ながら恩師の先生方のご参加はかかないませんでした。卒業以来の再会もあり、懐かしさと喜びに包まれた会になりました。

今回、あらためて顔を合わせて話すことの大切さを感じました。近況を語り合い、笑い合い、励まし合う時間が、明日への大きな力になります。

開催にあたり、自彊会からご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。このご支援に支えられ、温かい雰囲気のを開くことができ、幹事一同喜んでおります。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございます。

すでに次回の6・7組幹事も動き出し、再会を心待ちにしております。

高校36回

石 下 景 教

還暦同窓会

昨年11月1日、明高36回生の還暦同窓会を盛大に開催いたしました。当日は明石市の市政記念日という佳

き日でもあり、恩師の尾崎守先生、山田拓史先生、亀田佐一郎先生をお迎えし、総勢102名もの仲間が集



結しました。

会場となった三ノ宮のイタリアン「ジャルディーノリンシエメ」は、予想を上回る出席者で熱気に包まれ、少し手狭に感じられるほどでした。一步会場に入れば、瞬時に高校時代へと引き戻されたかのような感覚になり、還暦を祝う笑顔と笑い声が絶えることはありませんでした。

近況報告に花を咲かせるうち、楽しい時間はあっという間に過ぎましたが、この再会を機に各地でミニ同窓会などが開かれ、36回生の絆がさらに深まることを幹事一同切に願っております。皆様、誠にありがとうございます。



明石高校24回生の皆様へ
2026年版の『交叉点24』を6月上旬にアップいたします。左記のURLよりご確認ください。
<https://akashi24shs.web.fc2.com/index.html>

入会あいさつ

橋 廣 阿 聖

私たち78回生310名はこの春、明石高校を卒業し、自彊会へ入会させていただきます。これからは自彊会の一員として、我が母校明石高校をよりよい学校としていくため、共に努力していきたいと思っております。まだまだ若い私たちですが、これからもご指導ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願いいたします。



同窓会開催のお知らせ

★高10回生
日時 2026年11月1日(日)
11時30分開宴
場所 中部講堂
米寿同窓会です。
小山孝治

★高24回生
日時 2026年11月12日(木)
13時開宴
場所 ホテルセトレ神戸・舞子
皆様の参加をお待ちしております。
幹事 松尾和彦

★高26回生
日時 2026年11月7日(土)
13時開宴
場所 グリーンヒルホテル明石
古希同窓会を開催します。詳細・参加不参加は、QRコード又はURLより。
https://forms.gle/Bp8Yrsp3ezw7Nk3Z9

★高29回生
日時 2026年11月14日(木)
12時開宴
場所 グリーンヒルホテル明石
卒業50周年記念同窓会です。ぜひご参加ください。
小椋利雄



★高13回生
日時 2027年4月初旬
12時開宴

場所 中部講堂の予定
来年、桜の開花に合わせて4月初旬、母校で開きます。「お帰りなさい13回生一道を掃きて佳き友を待つ」が合言葉。講堂で校歌を斉唱します。
竹内信六

「東京自彊会」より

長尾昌男(高18回)

当会では、2年毎の総会・懇親会を開催することに決めており、今年、佐々木知子会長での3度目の開催年となります。開催日時等は、後記予告をご覧ください。

関東エリア(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・群馬・山梨・静岡)の9都県に在住の皆様には、9月に入りましたらご案内をお送り致します。前回は、1198通発送し、参加者は46名でした。

自彊会の年会費(3千円)を納入いただいた9都県の皆様(昨年度は190名)の年会費の一部(1/4)が、当会の支援金となることもお覚えただき、奮ってご参加ください。役員一同、お待ちしております。

2026年度「総会・懇親会」

日時 2026年11月7日(土)
正午から
場所 ホテルグランドアーク
半蔵門 3階(光の間)
会費 6千円

東京自彊会 役員

Table with 4 columns: Position, Name, and Age. Includes roles like 会長, 副会長, 幹事, 監事, 顧問, 元顧問, 幹事.

STEAM探究科 1期生 関東研修旅行 「東京自彊会との懇親会」報告

昨夏2025年7月30日(水)早朝、8月1日(金)夕方に亘り、2024年度より新設されたSTEAM探究科1期生(2年生)40名の関東研修旅行が実施されました。

東京自彊会では、初日の30日に(株)千代田テクノル大貫代台事業所とJAXA

A筑波宇宙センター見学の後、国立オリンピック記念青少年総合センター内「レストランさくら」に於いて「東京自彊会との懇親会(歓迎と応援の会)」を19時〜20時半でさせていただきました。

懇親会では、佐々木会長の歓迎挨拶と乾杯(ソフトドリンク)、多田先生のSTEAM探究科の紹介、グループ毎のSTEAM探究科の取り組みや課題研究等の紹介/先輩OB・OGとの歓談、先輩OBの杉山幹事の「こんな仕事(気象等の計測器の製造)をしています」紹介、先輩OBの寺坂教授(慶應義塾大学理工学部)の応援メッセージの後、明高校歌を歌い懇親会を閉会しました。(懇親会の生徒40名分の費用12万円は、自彊会本部より支援いただきました。)

研修旅行の2日目は、東京大学訪問。3日目は、都内見学の後、夕刻には西明石駅に全員無事帰着されました。
今年は、真夏ではなく12月15日〜17日に実施されると聞いています。



美術科支部

才田 采奈 (高76回・美39回)

明石高校美術科39回生による「20歳展」を開催いたしました。20歳という節目にかつて3年間、同じ場所で学んだ仲間たちが再び集い、それぞれの思う美術を表現しました。卒業後、美術を続けている人も、別の道へ進んだ人もいますが、明石高校美術科39回生として再び集まり、共に展示できたことを心から嬉しく思います。当日は132名もの方々にご来場いただき、温かいお声をかけていただきました。



無事に展示を終え、メンバーの間では、「10年後に『30歳展(みそじ展)』としてまた集まって展示したいね」という話が出ました。美術の道を歩む者も、別の場所ですら自分を磨く者も、10年後、さらに成長した姿で再会できれば嬉しいです。展示会の開催のため奔走してくれた運営メンバーをはじめ、協力してくれた全ての仲間へ感謝します。



2026年3月、デザイン・クリエイティブセンター神戸KUNITOにて20歳展を開催。美術科39回生の23人が参加した。

村上 愛 (高75回・美38回)

今年3月、ドイツ・ミュンヘンの美術館「ピナコテーク・デア・モデルネ」での展示という稀有な機会をいただき、現役作家の先生方や仲間へ支えられ、「ハレの日」をキーワードに駆け抜けた日々は、私の人生の大きな起点となりました。現地で得た最大の財産は、一人の「表現者」として認められた実感です。作品を迎え入れてくださった方の「自信を持ってほしい」という言葉。そして、以前の展示での購入者と奇跡的に再会し、私の拙い英語に真摯に耳を傾けていただいたことは何物にも代えがたい感動でした。「誰かの心の拠り所を」と願い制作してきましたが、逆に私の方が救われるという温かい時間を過ごすことができました。この貴重な経験を胸に、支えてくださった全ての方へ感謝を込めて卒業制作に挑みます。来年の卒業展にて、4年間の集大成をお見せできるよう精進いたしますので、切磋琢磨する同級生たちの作品と、私の「今」をぜひ覗きにきてください。



神戸芸術工科大学卒業展 [学部・大学院]カオス2027 2027年2月12~14日 兵庫県立美術館ギャラリー棟、原田の森ギャラリーにて開催(予定)



玄関から入るとすぐ土間空間



玄関に兵馬俑!?

「家で教室をしたかったので1階に土間があることが条件でした」今年、新居に引っ越した陶芸作家の美術科5回生(高42回) 大久保真理子さん。キャットウォークがダイニングや玄関にまで続き、土間と生活空間を仕切りながらも柔らかく光を採り込む素敵なつくり。



上から見るニャ...



2026年度同窓会美術科支部 総会のご案内

下記にありますように、第21回総会を開催いたしますので、多数ご出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※例年通り懇親会も開催しますが日時変更、詳細は後日ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。

記

期日 2026年7月19日(日)

時間 15時30分

集合 JR明石駅東側改札前



同窓会
美術科支部
ブログ



同窓会
美術科支部
Facebook



同窓会
美術科支部
Instagram

明石高校資料館リニューアル整備のため、有志メンバーが資料館に集まり、これから取り掛かる美術科用スペースのための細かな採寸と、壁面や設備の現状の確認をしました。



完成は今年6~7月を予定しています。公開が始まりましたら、ぜひ見に来て下さい。

お世話になりました

「あかしこうこう」

里 知純



あつという間の2年間でした。明石高校創立101年目の令和6年4月に教頭として着任し、翌令和7年度には中部講堂竣工70年記念式典、自彊会新資料館のお披露目。明高の歴史と伝統に触れた2年間でした。

かつての卒業生から現役生へと脈々と受け継がれる「自彊不息」の精神は、明石高校の不変の背骨であり、私にとっての心得にもなりました。

しりょうかん（資料館）が徐々に整備される様子を見ることは私にとって密かな楽しみでした。お披露目にもご招待いただき、改めて受け継がれた精神、文化を感じる事ができました。

この学び舎の象徴ともいえる中部講堂も印象深く、着任式での舞台からの眺めに、これから明石高校で教頭を務めることの責任とやりがいに、身が引き締まったことを覚えています。

うみ（海）を臨む校舎から壮大な眺め、四季折々に色や香りで楽しませてくれた木々花々、一日の終わりを告げる鮮やかな夕焼け空など、明石高校で触れることのできる豊かな自然の数々は日々私に安らぎを与えてくれました。

この明石高校で出会ったすべての方々に感謝し、明石高校と自彊会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。うらかな春の日、満開の桜の花びらの下、明石・朝霧にて。

明石での学び

青山雄太郎



明石高校では進路指導部に1年間、78回生学年団に3年間、計4年間お世話になりました。進路指導部には困ったときになんでも相談できる先生方がおられました。教員として働き始めた私にはとてもありがたい環境でした。

78回生の学年団では、何事にも前向きに取り組む素敵な生徒たちと学校生活を送ることができました。また、個性豊かで笑いの絶えない学年の先生方にも支えられました。たくさんの人と関わり仕事をしながら感じたことは「熱量をもって全力でやったことはいつか自分を救うことになる」ということです。失敗しながらも全力で取り組んだことは自分の成長につながりました。また、生徒と本音でかかわり、時間をかけて話したことについて、卒業式の日に感謝を述べてくれる生徒もいました。

新しい学校でも多くのことを学び、生まれ育った兵庫県の教育に、より一層貢献していきたいと思えます。いままではありがとうございました。

修行の旅へ

上田 修平



20年程前高校56回生として在学中、当時の島村校長先生から「明高には子午線を測った台があります、どこにあるか探してください」という宿題が出され、ついぞ見つけられず卒業しました。平成27年に赴任してすぐに、山中先生からその答えを教えてくださいました。その子午線観測台にも焦点が当たった学校創立100周年に關われたことはとても光栄でした。

在任中、「明高の良いところは？」という問いに対して、「多くの卒業生が過ごした明高という場自体」という回答を持っていました。私自身は生徒として、教員として14年間過ごしましたが、まだまだこの学校を味わい尽くせていないというのが実感です。本当に懐深く味わい深い学校です。それにしても、そろそろ卒業しないとイケないかと。今後は一卒業生として、母校で学ぶ後輩の皆さんが明高を思う存分味わい尽くすことを願います。

最後になりましたが、在任中お世話になった皆様へ感謝と、これから明高、自彊会の益々の発展をお祈りし、ご挨拶に代えさせていただきます。

人

事

異

動

☆ 転退任 ☆

- 里 知純 先生 [教頭] (西宮今津高校へ)
- 岸本 啓子 先生 [事務長] (県立図書館へ)
- 山田 耕平 先生 [地歴] (本校非常勤講師へ)
- 藤元 弘樹 先生 [数学] (退職)
- 藤田 俊正 先生 [国語] (宝塚西高校へ)
- 吉野 美音 先生 [国語] (本校非常勤講師へ)
- 竹原 潤一 先生 [美術] (鳴尾高校へ)
- 青山 雄太郎 先生 [数学] (神崎工業高校へ)
- 上田 修平 先生 [美術] (神戸鈴蘭台高校へ)
- 下田 美保子 先生 [数学] (大蔵中学校へ)
- 赤井 美香代 先生 [実習] (退職)
- 大矢 梓 先生 [事務] (神戸鈴蘭台高校へ)
- 坂本 宗宏 先生 [事務] (三木高校へ)
- 小山 寿子 先生 [事務] (のじぎく特別支援へ)

☆ 着任 ☆

- 小野 賢一 先生 [教頭] (明石清水水高校より)
- 片山 貴宏 先生 [事務長] (洲本実業高校より)
- 早山 徹 先生 [地歴] (明石城西高校より)
- 渡邊 裕子 先生 [数学] (明石北高校より)
- 西村 健太郎 先生 [国語] (西脇北高校より)
- 玉富 春子 先生 [国語] (自由が丘中より)
- 山根 大司 先生 [美術] (伊丹北高校より)
- 埴淵 哲一 先生 [数学] (小野高校より)
- 稲次 智彦 先生 [美術] (神戸鈴蘭台高校より)
- 木村 真一 先生 [数学] (神戸高校より)
- 吉川 重宏 先生 [情報] (明石西高校より)
- 五十嵐啓介 先生 [理科] (播磨南高校より)
- 池田 路 先生 [実習] (明石北高校より)
- 大喜 慧 先生 [事務] (高砂高校より)
- 後藤 早苗 先生 [事務] (松陽高校より)
- 池田 芳行 先生 [事務] (初任)

よろいそ明高へ

ごあいさつ

小野 賢一

このたび、里教頭の後任として、県立明石清水高等学校から着任いたしました。100年を超える伝統を受け継ぎ、地域から信頼されてきた本校において勤務いたしますことを、大変光栄に存じております。

着任早々、資料館のお披露目会に参加させていただきました。同窓会の皆様にご温かくお迎えいただきましたことは、私にとつて今後の新たなスタートを切る大きな励みとなりました。

「100年を超えて、新たなステージへまっすぐに！」のスローガンのもと、普通科・美術科・STEM探究科それぞれの特色ある教育活動を大切にしながら、DXハイスクール指定校として、基礎・基本の徹底および大学入試改革への対応を重視し、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばす学校づくりを尽くしてまいります。

今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「転機」

稲次 智彦

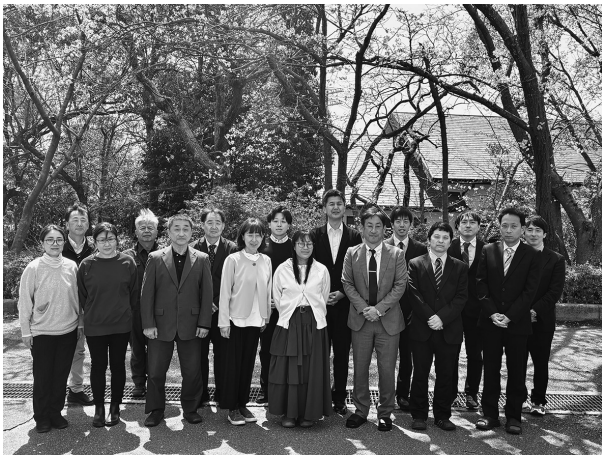
はじめて明高生と出会ったとき、人懐っこく、何事にもまっすぐ向き合う姿に心

を動かされました。あの生徒たちとの学びは、私の教員生活にとって大きな転機となりました。

6年ぶりに明石高校へ戻り、「おかえりなさい」と言っていたいたるときには、故郷に戻ってきたような心地よさがありました。またその場所で、明高生のみならず、先生方と学べることを、とても嬉しく感じています。

作品や授業を通して気持ちを通わせることができた美術科の生徒たちと、再び学ぶ機会をいただけたことも、美術科教員として胸を弾ませていきます。

コロナ禍を乗り越え、100周年を過ぎても歩みを止めない明石高校と、そこに関わる皆さまのお力になれるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。



二十歳の集い

池田 真冬

まだ肌寒い3月半ばに、明石高校76回生の二十歳の集いが行われました。僕は今回ただ参加するだけでなく、運営側としてこの1回きりのイベントを経験することができ、とても貴重な経験になりました。今回運営するにあたって何人もの先生や友人に協力してもらいました。無知で計画性に欠ける自分にとっては、これは当たり前ではなく、非常にありがたくそして温かく思えました。

そして内容に関しては例年に沿ってのビンゴと、今までの例年の流れを壊したいと考えて意気込み、誰もが平等に楽しめるようにして生徒と先生が交流できるようなことをしたいと考えて、クイズ大会を行いました。開始は集合が少し遅く、少々押し込められた感じがしましたがみなさん楽しんでいてくれるようでとても嬉しかったです。みんなが楽しめるというところは、こちらから一方的に「見せる」ではなく双方からのやり取りで生まれると僕は考えたので、積極的に席に座っている先生や生徒と交流するように



しました。多くの方のサポートがあつて無事終わりを迎えることができ、とても嬉しく思います。

チャレンジ明高!!

'26年4月進路結果

「七転八起」78回生

学年主任 藤田 俊正

2026年2月27日、第78回卒業証書授与式が挙行され、310名が明石高校を巣立つていきました。式典の最後に「礼して講堂を後にする78回生の姿を見てみると、3年間という時間の短さとその間の彼らの成長ぶりに驚かされるばかりでした。自彊会並びに会員の皆様には、様々な場面でお世話になりました。心より御礼申し上げます。

明石高校創立100周年という記念すべき年に、78回生は入学しました。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、マスクをつけた形での入学式でしたが、「78」にちなんで「七転八起」という学年スローガンを掲げ、失敗を恐れず、粘り強く取り進む姿勢を育むことを目的に取り組みでまいりました。また、中学時代に新型コロナウイルス蔓延にかかる様々な制限を受けてきた学年ということもあり、できるだけやりたいことをさせていくようにしました。78回生は、素直で積極的に活動する者が多く、創立100周年記念式典においては、受付ボランティアや校歌合唱隊にたくさんの生徒が関わりました。明石高校における歴史の節目に、このような形で78回生が関わることができたことに對して光榮に思います。78回生は、大きな声で挨拶したり、集会時に校歌を大きな声で歌ったりするなど、常に明るく

く元気で前向きな気持ちで取り組んでいました。特に2年生の時に行われた美術科のバリ研修旅行や普通科の北海道修学旅行においては、誰一人欠席することなく全員が参加し、事後のアンケートにおいても満足度が95パーセントを超える高い満足度でした。3年生の遠足では大阪関西万博を見学するなど、その時その場でない経験できないようなことを経験してきた学年でもありました。

進路においては、「ななめ上を見上げて進んでいこう」を合言葉に、生徒個々の進路実現に向けた取り組みを行ってきました。具体的な進路情報や学習の方法もさることながら、進路に対するモチベーションを上げるための講演会やビデオ視聴も行ってきました。生徒が最後まで妥協することなく自己の目標に向けて頑張る姿勢をいかに保ち続けられか、このことを主眼に置いて取り組んでまいりました。本年度の進路結果は左表のとおりです。

就職は1名で、後はすべて進学または浪人という結果でした。国公立大学は30名近くの生徒が合格しました。本年度の特徴としては、関西学院大学に延べ50名

近い生徒が合格したことです。特に文系中心に通える大学へという志向が強かった結果であるように思われます。第一志望校に合格した生徒の様子を見ていたら、1年生の時から地道な努力を積み重ねて栄冠を勝ち取った者もいれば、3年生になって進路意識が目覚め一気に学力が上がった生徒など様々ですが、進路に関する意識が高く、自己の目標を高く持つて妥協せずに最後まで頑張っていました。その反面、残念ながら目標校に届かず浪人する生徒も今年は多く出ました。浪人という決断をした彼らが「七転八起」の精神で、来春こそ栄冠を勝ち取れることを祈願するばかりです。

新しい年度が始まり、78回生も新しい場所での新たな一歩を歩み始めました。おそらく、大きな期待と不安を胸に抱きながらの「一歩」とは思いますが、その新しい生活に慣れるにつれて、持ち味である素直さと積極性を遺憾なく発揮してくれることでしょう。彼らが「自彊不息」の教えを忘れず、やがてそれぞれの場所で大輪の花を咲かせ、諸先輩に続き「明石高校ここにあり」と存在感を示してくれることを切に願うばかりです。最後になりましたが、自彊会の皆様には、新会員となりました78回生に今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

明石高校過去3年間の進路実績

Table with columns for University Name, R5, R6, R7, and a detailed list of university names and counts. Includes sections for Private Universities, Specialized Schools, and Universities.

令和8年3月31日現在 数字は合格総数、そのうち()内は既卒生の合格総数

切磋琢磨

クラブ活動紹介

ダンス部
躍動するダンス部、

その魅力と歩み
顧問 高尾 珠里

本校ダンス部は、地域と学校をつなぐ存在として、幅広い活動に取り組んでいます。肉フェスタやロハスミーツ、パラスポーツ、大久保南小ふれあい祭り、御厨神社の春まつりなど、地域のイベントに積極的に参加し、会場を明るく盛り上げています。また、文化祭や体育大会、学校説明会、記念行事といった校内行事でもパフォーマンスを披露し、多くの方々楽しんでいただいています。さらに、プロバスケットボールチームの試合前パフォーマンスや全日本



女子サッカー選手権大会など、スポーツの場でもチアダンスを披露し、応援の力で会場に一体感を生み出しています。加えて、県総体や新人大会にも出場し、生徒たち自身が主体となって作品を創り上げる経験を重ねています。弾ける笑顔と主体的な姿勢、そして多くの観客を惹きつける表現力が明石高校ダンス部の大きな魅力です。今後も、観てくださる方に元気や感動を届けられるよう、心を込めたパフォーマンスを続けてまいります。

女子バレーボール部 「応援されるチーム」であれ

顧問 進藤 碧斗

バレーボール部は「応援されるチーム」になることを第一目標に日々活動に取り組んでいます。前任の先生をはじめ、何人もの先生方や卒業生がこの明石高校バレーボール部のバトンを繋いでくださいました。私はその伝統を引き継ぎ、更に応援されるようなチームになってほしいと常々思っています。勝つために頑張ることはもちろん大事ですが、「人間的な成長」を指導の中では大切にしています。挨拶をはじめとする礼儀、活動を支え、応援してくださる方への感謝、目標に向かって全力で取り組むひたむきさを身につけ、様々な人に応援され、愛される人物を、部活動を通して育てていきたいと一指導者として強く思います。

明石高校バレーボール部の監督を引き継ぎ、5年が経ちました。今年の年始にはOG会を開催し、卒業生、現役生を含め40名以上が集まり、今までの思い出を語り、バレーボールを楽しみました。立派に成長している卒業生をみて、自分も更に頑張らないといけないと刺激をもらいま



した。
その上でバレーボール部の目標は1部優勝と近畿大会出場です。1部に昇格してから3年が経ちましたが、未だ1部優勝は成し遂げられていません。また、近畿大会出場も目前で逃しています。代が変わっても掲げ続けているこの目標を達成し、応援してくださる皆様に胸を張って報告できるようにチーム一同全力で頑張っていきます。これからも応援よろしく願います。

同窓会への一層の協力を!



前同窓会会長 草川 雄二 (高11回)

草木は芽を吹き、生き物すべてが躍動の時節となりました。

同窓会員の皆様にはご健勝の事とご推察申し上げます。平素は自彊会へのご支援ご協力有難く思っております。

私事で恐縮ですが、この度会長の任を若い精鋭・福本明彦氏(30回生)に委ね、退任致しました。100周年記念事業の3ヶ月前、現職和田会長の急死に伴い、90周年の実行委員長の経験で再度会長をお引き受け致しましたが、私も高齢(11回生)となり自彊会には若い方の息吹をもって活性化が必要不可欠であると考えます。

私は母校の学校創立90周年の実行委員長・100周年の実行

副委員長として二度も大きな記念事業に携わり、人生最大の経験と喜びであります。

また去る3月9日に中部講堂が昭和31年(1956年)1月に竣工し、今年(昭和101年)で70周年を迎えると共に、栄える国の重要文化財に認定され授与式が挙行されました事お知らせ致します。

講堂竣工の翌月の2月には真新しい講堂で明高8回生が卒業式を挙行、3月にはこの講堂をお借りし、私達大蔵中学校の卒業式を挙げさせていただきました。4月には明高の入学式を迎えるという何かの縁を感じると共に、70年の歴史と記憶が幾重にも脳裏に刻まれております。明石高等学校の益々の発展を期待し、在任中に、私に賜りましたご支援、ご厚情に深く感謝申し上げます。退任のご挨拶と致します。令和8年3月31日

2026年度同窓会役員

- 会長 福本 明彦 (高30回)
副会長 安藤 勉 (中18回) 佐々木卓郎 (高18回) 南谷 雄司 (高23回)
常任理事 毛笠千代乃 (高30回) 北田 硬 (高30回) 矢本 康成 (高31回) 土谷 智子 (高31回) 堀田 健一 (高34回) 川端 大造 (高38回) 吉永 哲雄 (高51回) 上田 修平 (高56回)
監査 長塩 知子 (高18回) 藤丸 達美 (高21回)
顧問 泉村 靖治 (校長) 清水 正孝 (高3回) 浅田 弘子 (高6回) 加護谷 榮章 (高7回) 茨木 智 (高8回) 草川 雄二 (高11回) 米澤 淑介 (高12回) 竹内 信六 (高13回) 松本嘉代子 (高16回) 伊川美智子 (高16回)
学年理事 安藤 勉 (中18回) (高1回)

- (高2回) 桃尾 行男 (高3回) 黒田 克己 (高4回) 戎井 皓二 (高5回) 尾上てる子 (高5回) 小野 淑子 (高6回) 安藤 博美 (高7回) 石井 清隆 (高8回) 嶋崎 晴夫 (高8回) 堤 明 (高9回) 小山 孝治 (高10回) 藤原 博 (高10回) 松本 武城 (高11回) 平野 武彦 (高12回) 橘 幸男 (高13回) 竹内 信六 (高13回) 渡邊 正弘 (高13回) 寺田 三郎 (高14回) 中本 榮美子 (高14回) 嘉藤 弘之 (高15回) 津野 弘子 (高15回) 岡本 建二 (高16回) 奥田 寛 (高17回) 池田 康之 (高17回) 佐々木卓郎 (高18回) 岩澤 武 (高19回) 井上 利夫 (高19回) 茨木千佐子 (高19回) 村松 克行 (高20回) 藤丸 達美 (高21回) 池内 満 (高22回) 吉岡 保 (高23回) 田中 雅子 (高23回) 鶴岡 昌代 (高23回) 河合 昭彦 (高24回)

- 河合 嘉 (高24回) 瀬川勝太郎 (高25回) 柏木 喜義 (高25回) 熊谷 典子 (高25回) 谷 千寿 (高25回) 上山 宏 (高26回) 永井 邦治 (高27回) 八木 雅史 (高27回) 高橋 雅美 (高28回) 木下佳代子 (高28回) 藤本 英子 (高28回) 小椋 利雄 (高29回) 前田 豊 (高29回) 福本 明彦 (高30回) 高橋 秀徳 (高30回) 内橋美世子 (高30回) 伊澤 嘉祐 (高31回) 宮脇 貢 (高32回) 三木 翔理 (高32回) 長野 雅三 (高33回) 松本 和三 (高33回) 酒田 智 (高33回) 磯上美智子 (高33回) 滝川 由里 (高33回) 堀田 健一 (高34回) 田方 宏幸 (高34回) 内尾 英嗣 (高35回) 石下 景教 (高36回) 辻 美知子 (高36回) 伊原 洋 (高37回) 宮本 淳子 (高37回) 黒木 明弘 (高38回) 西川 昌宏 (高38回) 廣中 芳範 (高39回) 北山 力也 (高40回) 梅田 光一 (高41回)

- 谷口 正晃 (高42回) 高雄 正臣 (高43回) 稲葉 展 (高44回) 本田 学 (高45回) 水野あつ子 (高45回) 藪内 健吾 (高46回) 西山 武 (高47回) 澤田 雅文 (高48回) (高49回) (高50回) 芝 純司 (高51回) 吉永 哲雄 (高51回) 木村功太郎 (高52回) 小島 一朗 (高53回) (高54回) 橋本 真彰 (高55回) 村中 裕 (高56回) 西角 千尋 (高57回) 山本 芳行 (高58回) 佐藤 匠 (高59回) 竹内 裕貴 (高60回) 和田 亮磨 (高61回) 西山 直幸 (高62回) 中下 将汰 (高63回) 小柴 智弘 (高64回) 櫻井 拳人 (高65回) 山内 圭哉 (高66回) 星野 優輝 (高67回) 平田 茉有香 (高67回) 松村みなみ (高68回) 山澤 勇登 (高68回) 前山 颯太 (高69回) 豊田 萌夏 (高69回) 西岡 美裕 (高70回) 木戸健太郎 (高70回) 津崎 直暉 (高71回)

- 工藤 優綺 (高71回) 前山 颯唯 (高72回) 有原 夢乃 (高72回) 吉川 大和 (高73回) 上月 彩未 (高73回) 服部 直弥 (高74回) 竹本 滯 (高74回) 安田 圭佑 (高75回) 吉岡 さやな (高75回) 黒木 佳乃 (高76回) 池田 真冬 (高76回) 片岡 昱 (高77回) 亀井 ひなの (高77回) 橋廣 阿聖 (高78回) 角谷 美怜 (高78回)
兵庫県庁支部 安井 洋一 (高39回)
東京自彊会 佐々木知子 (高25回)
美術科支部 鷺森 智美 (高38回)
事務局 吉田 真司 (高21回) 吉田 信次 (高31回) 寺口 吉行 (高34回) 荒田真友子 (高60回) 筏 信一郎 (高64回) 松原 史弥 (高65回) 漣 葉名 (高65回)
本部役員及び監査は理事会の承認をいただきました。

2025年度 決算報告 (2025年4月1日~2026年3月31日)

1 一般会計		(単位:円)		
(収入の部)		予算額	決算額	増減
1	2024年度繰越金	1,245,095	1,245,095	0
2	2025年度会費納入金	3,600,000	4,014,000	414,000
3	財政調整基金より	9,000,000	9,000,000	0
4	雑収入(ご寄付、銀行利息等)	4,905	273,659	268,754
合 計		13,850,000	14,532,754	682,754
(支出の部)		予算額	決算額	増減
1	会議費	770,000	633,861	▲136,139
2	事業費	8,660,000	6,565,014	▲2,094,986
3	事務費	3,510,000	3,248,757	▲261,243
4	記念行事基金	900,000	900,000	0
5	予備費	10,000	0	▲10,000
合 計		13,850,000	11,347,632	▲2,502,368
収入合計 14,532,754円-支出合計 11,347,632円=収支差額3,185,122円(次年度繰越)				
2 基金		(単位:円)		
		(収入の部)	(支出の部)	
1	財政調整基金			
	2024年度繰越金	1,528,957		
	在校生積立金	5,346,000		
	100周年事業残金	9,489,437		
	一般会計へ繰出		9,000,000	
	次年度繰越金		7,364,394	
合 計		16,364,394	16,364,394	
2	記念行事基金			
	2024年度繰越金	100,000		
	2025年度積立金	900,000		
	次年度繰越金		1,000,000	
合 計		1,000,000	1,000,000	
3 監査報告				
2025年度の決算について、会計帳簿および関係書類を監査照合した結果、適正に処理されていることを確認しましたので報告いたします。				
令和8年4月5日				
		監査 監査	伊川美智子 長塩 知子	印 印

2025年度 事業報告 (2025年4月1日~2026年3月31日)

月	日	内 容	月	日	内 容
4	12	第1回本部役員会	10	18	第2回理事会
	12	会報第33号第3回編集委員会	2	7	第4回本部役員会
	26	第1回理事会		26	第78回生同窓会入会式
	26	会報第33号第4回編集委員会		28	会報第34号第1回編集委員会
6	10	会報第33号発行	3	7	第3回理事会
	28	第2回本部役員会		20	第76回生「二十歳の集い」
7	4	2025年度総会(会場:ホテルキャッスルプラザ明石)			
9	27	第3回本部役員会			

藤村 博子	岩根 淳	高校3 伊藤 千秋	青木 繁行	高校2 原 忠義	併設2 岡田 隆保	併設1 鈴木 良一	岡本 尚	中学20 菱谷 菱二	浜崎 美彦	中学19 堂本 十郎	櫻井 茂久	中学18 田中 等	中学16 川崎 睦	中学13 吉田 まり子	村本 武彦	高田 美知子	旧職員	お悔み						
鷺塚 貞子	葛西 綾	高校9 小久保 猛	松本 好雄	東本 澄子	平本 幹夫	木嶋 武史	木下 勝康	玉田 敏子	高校8 小池 俊男	山口 真由美	土居 悦子	鈴木 雅夫	井上 雅夫	馬舟 倬三	藤井 久昇	西口 久士	笠谷 美恵子	高校6 人見 初子	岡本 改一郎	高校5 天野 美智子	山口 美代子	井上 美実	高校4 松山 宏	
松岡 一彦	藤原 宏通	福本 邦宏	岡本 永太郎	高校14 灰谷 十八男	山村 武彦	松本 昌三	永田 重夫	岡部 一郎	能村 英代	徳山 文子	高校13 安藤 晋三	春岡 隆司	玉木 吉彦	橘中 彦	田中 亨	高校12 村井 行弘	林 恵弘	羽生 弘信	瀬合 義之	川崎 哲生	高校11 河合 克彦	広瀬 好彦	岩崎 初彦	高校10 岩崎 初彦
白川 友作	秋田 吉久	高校21 吉並 多恵子	坊池 やよひ	馬場 則秀	立花 孝博	森川 和雄	村上 千代子	長尾 千代子	樋口 恵剛	野口 恵剛	茶谷 恵子	高18 下村 恵造	高校17 田中 和子	広瀬 瀏二	沼田 昇一	中尾 正卓	高梨 正彦	今村 意郎	高校16 林 忠良	木下 裕一	大西 康文	高校15 大西 康文		
							高校54 浅田 照崇	高校40 長野 義将	高校37 野下 栄治	高校36 岡田 啓介	高校34 松山 明功	高校31 寺東 真克	高校30 藤田 泰男	高校30 青津 優子	貞包 章	高校23 宮本 充治	小川 直樹	高校22 小川 直樹						

ご連絡を頂きまし
た方に厚くお礼を
申し上げますと
もに、謹んで故人
のご冥福をお祈り
いたします。

事務局よりお願い

- ①転居されたときには新住所をお知らせ下さい。
- ②お亡くなりになった方の連絡については、間違い防止のため、ご逝去の年月日を必ずお知らせ下さい。
- ③学年全体の同窓会を開催される場合、支援金をお渡ししますので、代表の方は事務局へご連絡をお願いします。
- ④事務局が常駐でないため、電話が繋がらないことも多いと思います。留守番電話にお名前と電話番号のメッセージを入れてください。後日事務局よりお電話いたします。
- ⑤同窓会運営の基礎となる年会費の納入に、ご協力をお願いします。
- ⑥同封の年会費振込用紙の「コンビ二用」は、『住所の印字』ができなくなっています。「コンビ二用」で郵便局から振り込まれる場合は、ご自分で住所をご記入願います。

会報送付のお知らせ

- 1 近年、同窓会活動の基礎となる会費収入の減少により、厳しい事業運営が続いています。
 - 2 収支の改善を図るため、会費納入者数の増加、支出の削減に取り組んでいます。
 - 3 会報発行費用が支出の中で大きな割合を占めていることに着目し、発送数を変更（削減）する判断に至りました。
- 以上により、今年度以降の会報発送を以下のように致します。
- ①会報第34号（2026年6月発行）は、前号記載の通り発送数を削減しました。
 - ②会報第35号（2027年6月発行予定）は、住所が判明している全会員（約20,000名）にお届けします。2028年度以降、総会の開催方法が変更になることを、全会員にお知らせする必要がありますためです。
 - ③会報第36号（2028年発行予定）は発送数の削減および発送時期の変更も視野に、今後検討します。

新たな 100 年に向け情報発信をしていきます



自逕会

検索

<https://dousoukai.site/meikou-jikyokai>

またはスマホから右の QR コードを読み込んでください



編集後記

新同窓会長が就任され、資料館の展示が完成し、明高の新しい時代の幕開けを感じる春です。また自然に恵まれた校内各所に立つと、その環境に改めて感謝するとともに歴史と伝統を感じます。

資料館の訪問の申込については本誌でも紹介されていますので、同級生同士で声掛け合い資料館を訪れられることをお勧めします。

整備された展示の中で思い出話に花が咲き、一瞬にして高校生時代にタイムスリップできますよ。

(卓)

より充実した同窓会の窓口を目指します

☆自逕会の様々な事業をHPでいち早く報告

速報性を生かし、同期会や会議の様子をお知らせします

☆同窓会報「自逕会だより」もスマホで持ち歩き

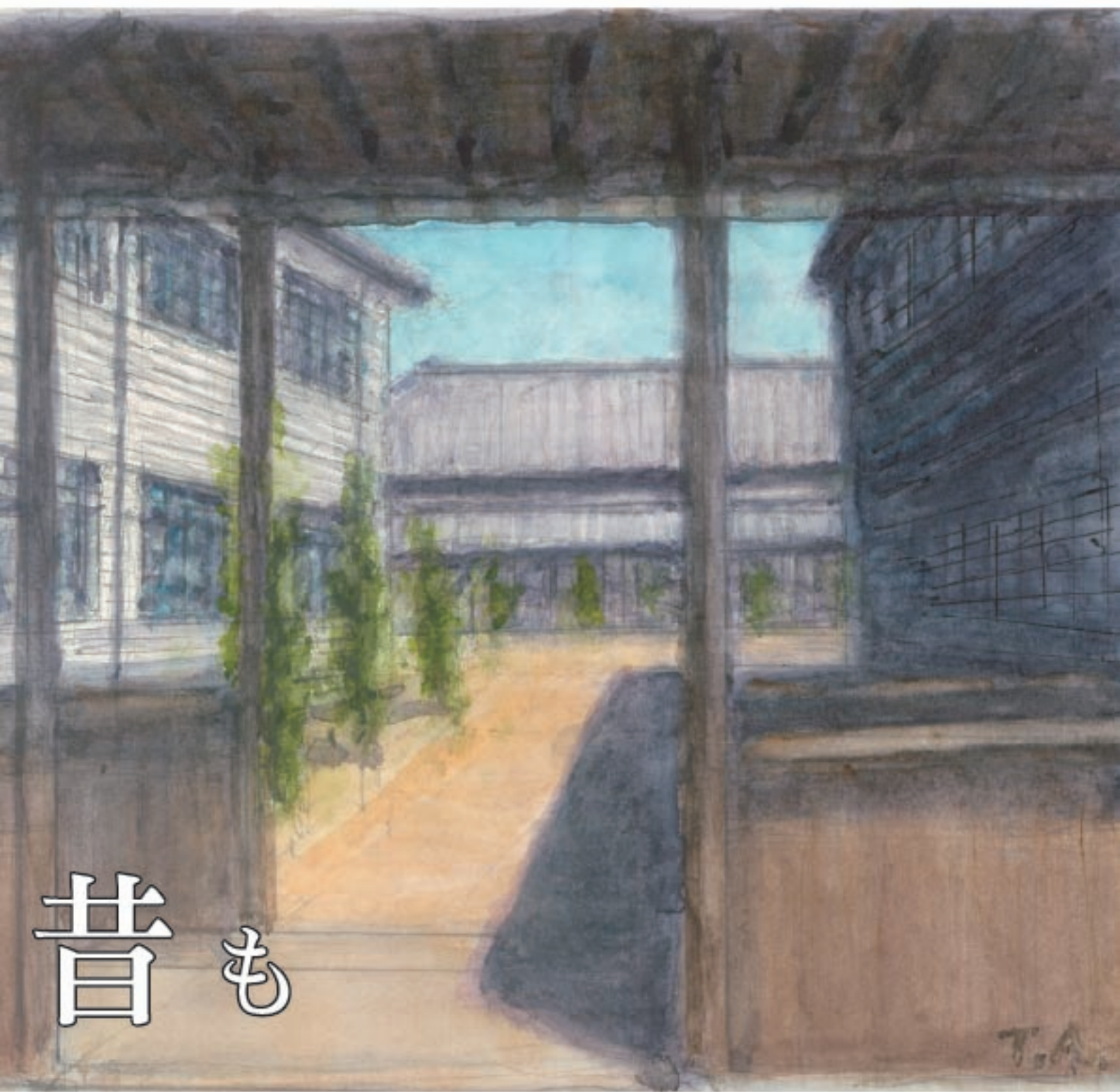
思いついた時にすぐ見られます。スマホの画面でもOK!

☆面倒な住所変更を手元のスマホから簡単に

転居されたら同窓会へも住所の変更をお知らせください



兵庫県立明石高等学校の公式インスタグラムを始めました。現役生たちの活躍、学校の日々の様子が見ていただけます。←こちらのQRコードを読み取ってください。フォローよろしくお願いします。



昔も

1号棟と2号棟の間より東、美術棟を望む。

発行：県立明石中学校・県立明石高等学校 同窓会（自彙会）
明石市荷山町1744番地 078 (913) 6554
印刷：（有）木下ブンセイ出版印刷